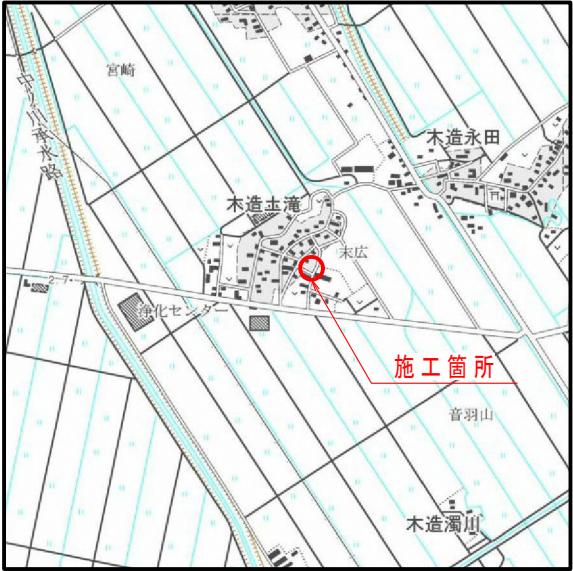


出S3-03(出精-土滝)

S=1:25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水道管：VPφ75 DP(埋設深さ)=1200 既設バルブ有

下水道管：支障なし

NTT管：支障なし。

舗装復旧：車道部(③市道)

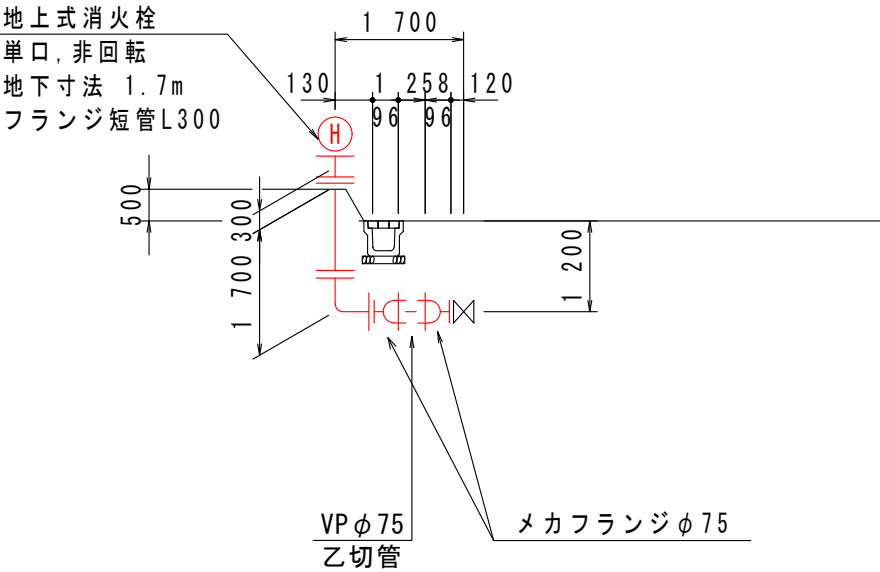
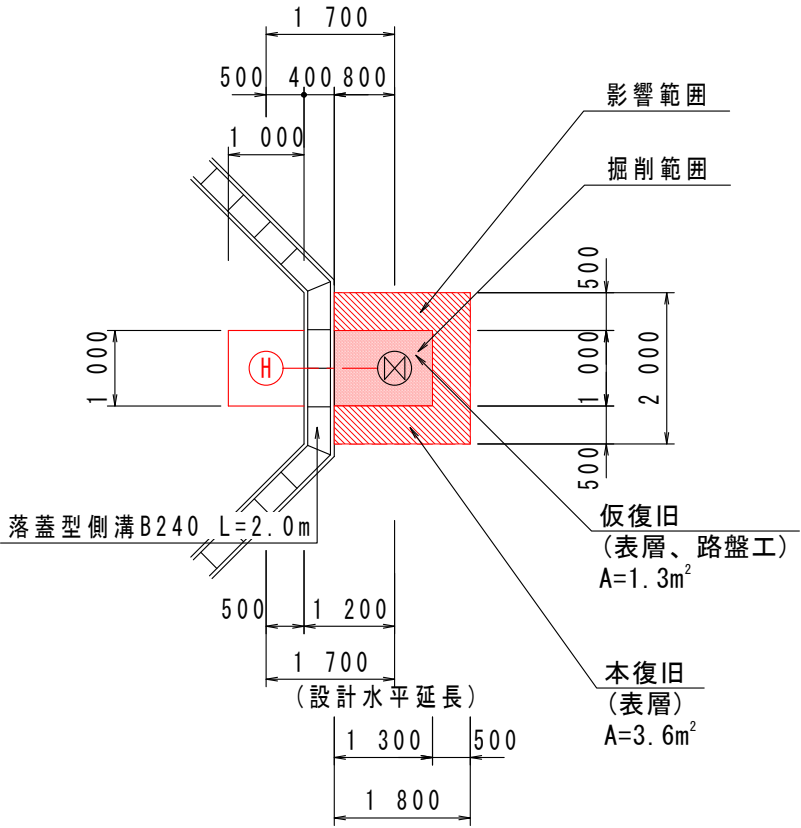
設計寸法条件

既設バルブからとし、埋設深さは(宅地盛土部を考慮して)消火栓の1.7mとした。

撤去管は、単口条件であるφ75とした。

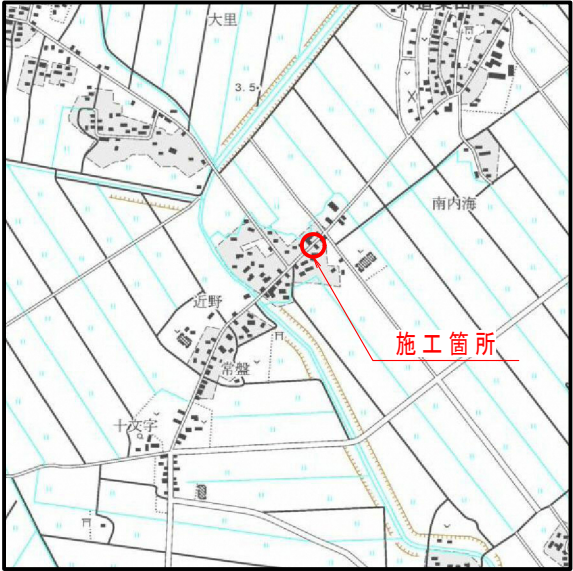
平面図

S=1:100



柴S3-01(柴田-近野)

S=1:25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水道管：DIPφ150 DP(埋設深さ)=800 既設バルブ有

下水道管：支障なし

NTT管：支障なし

舗装復旧：車道部（①県道187 越水木造線）

設計寸法条件

既設バルブからとし、埋設深さは消火栓の1.6mとした。

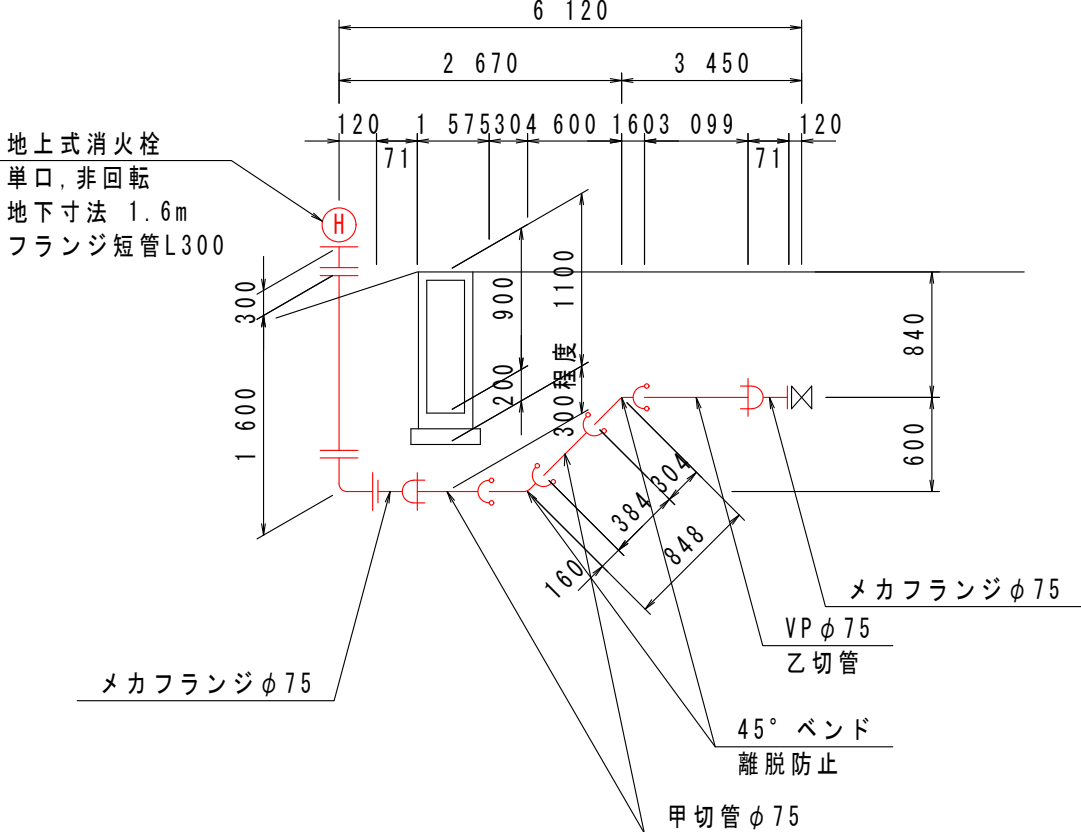
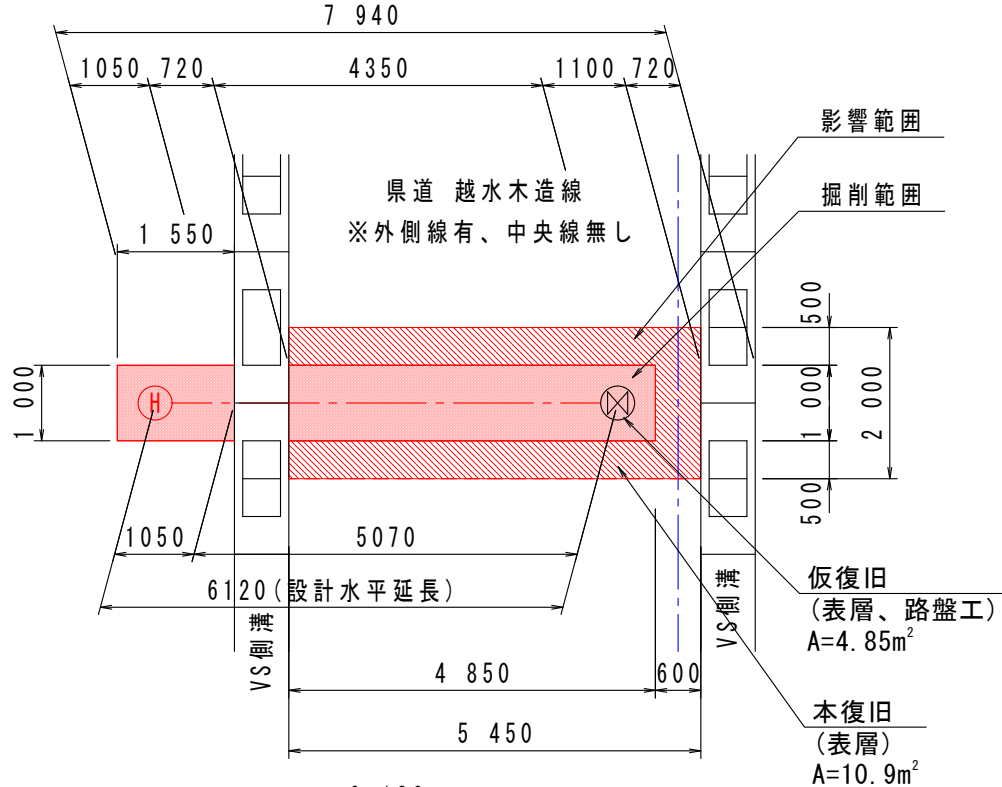
撤去管は、単口条件であるφ75とした。

伏せ越し部のクリアランスは現地状況に合わせ、消火栓地下寸法についてもこれに合わせるものとする。

※弁筐の色が赤と比較的新しい年代のため、消火栓まで更新済みの可能性があるため確認を行うこと。

平面図

S=1:100





柴S4-03(柴田-菊川)

S=1:25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水道管：DIPφ250 DP(埋設深さ)=800 既設バルブ有

下水道管：支障なし

NTT管：支障なし。

舗装復旧：車道部(③市道)

設計寸法条件

既設バルブからとし、埋設深さは消火栓の1.0mとした。

撤去管は、単口条件であるφ75とした。

※水路に嵩上土留めの構造となっているため、開削時の不安定な状態に留意すること。

平面図

S=1:100

